

# 審査の概要

議案63件を原案のとおり可決

予算特別委員会

3/3・3/13

予算特別委員会分科会

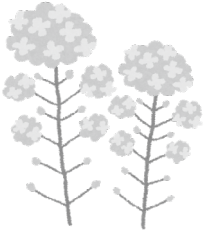
3/4・3/6~3/10

予算特別委員会では、令和8年度一般会計予算をはじめとする議案63件について審査を行いました。委員会は、審査をより充実させるため、議長を除く全議員が委員となり、委員会内に各常任委員会が所管する事項と同様の事項を審査する総務・経済建設・民生の3分科会を設置し、付託案件を分担して審査しました。その後、委員会は各分科会から審査の経過と主な内容について報告を受け、採決を行いました。

各分科会では、各議案について議論の中心となる問題点を整理するため、論点整理を行い、疑問点を整理・確認したうえで、理事者に質疑を行いました。質疑により議案の疑義を解明した後、分科会として議案をどう判断するのか、委員間で選定した項目について協議を行い、各議案についての賛否態度を取りまとめました。各分科会の主な審査過程は次のとおりです。

## 審査のながれ

- 3月3日 (付託・分科会設置等)
  - ・本会議
  - ・予算特別委員会
- 3月4日 (論点整理)
  - ・総務分科会
  - ・経済建設分科会
  - ・民生分科会
- 3月6日 (質疑・委員間討議等)
  - ・総務分科会
- 3月9日 (質疑・委員間討議等)
  - ・経済建設分科会
- 3月10日 (質疑・委員間討議等)
  - ・民生分科会
- 3月13日 (分科会審査報告・採決等)
  - ・予算特別委員会
  - ・本会議



## 総務分科会

議案19件を審査

選定した論点と整理・確認した疑問点  
議案第1号 令和8年度函館市一般会計予算のうち

### ○移住・定住促進費

・移住者数の推移 他

### ○函館市地域公共交通協議会負担金

・広報活動をどのように行い利用者に増につなげていくか 他

### ○学校給食費負担軽減補助金

・保護者負担金の変化

・学校給食の質的な低下を招かないか 他

### ○移住・定住促進費

○移住・定住促進費

令和2年度から6年度までの5年間で本市への移住を確認できた世帯・人数は、令和2年度が20世帯27名、3年度が15世帯25名、4年度が14世帯26名、5年度が18世帯30名、6年度が18世帯26名となっております。

### ○函館市地域公共交通協議会負担金

協議会の報告書では利用促進につきまして、認知拡大を図るための分かりやすいネーミング等の周知方法の工夫や、町会や商店等の団体への利用促進の呼びかけなど積極的な協力を仰ぐ等の取組が示されておりあります。AIデマンド交通を持続可能なものとするためには、多くの方に利用していただくことが必須なので、令和6年度の実証運行で実施した市の広報誌への掲載、チラシの全戸配布や説明会の開催に加え、早期に丁寧な周知を図り利用拡大につなげてまいりたいと考えております。

### ○学校給食費負担軽減補助金

学校給食費の保護者負担の年額につきましては、負担軽減の取組により、令和7年度は約4万6千300円ですが、8年度は約9千300円となり、その8割に相当する約3万7千円が減少する見込みとなっております。

学校給食の質につきましては、毎年、給食費として適切な金額を設定しておりますので、負担軽減による質の低下は生じないものであります。また、令和8年度には、「食の担い手」育成推進事業との連携により、地元食材を使用した献立の充実等、質の向上にも努めてまいりたいと考えております。

### 委員間の協議

### ○移住・定住促進費

人口減少対策の一環として大事な政策であり、地域おこし協力隊のさらなる活用や移住しやすいまちというイメージ戦略などを進めていく必要がある一方で、移住の定義を明確にし、転入動機の詳細な分析など施策の効果の具体的な検証も重要であると思っております。

### ○函館市地域公共交通協議会負担金

AIデマンド交通という名前が高齢者に馴染みがないので、利用方法や周知方法を含め利用しやすい環境を整えて進めていただきたいと思います。

### ○学校給食費負担軽減補助金

学校給食の完全無償化が期待されるが、質の担保や安全性を考慮した場合、一定の保護者負担についてはやむを得ないものであり、合わせて質の高い「おいしい給食」を維持・向上させていく必要があると思っております。などの発言がありました。